



様式第 4 号 (第 6 条関係)

令和元年 6 月 11 日

富士見市議会議長 篠田 剛 様

会派名 草の根
代表 今成 優太

行政視察・研修 (政務活動) 報告書

下記のとおり、行政視察・研修 (政務活動) を実施しましたので、報告いたします。

記

- 1 期 間 令和 元 年 6 月 4 日 (火) 午後
- 2 参加者名 村元 寛
- 3 場所 (行政視察地)
東京国際フォーラム (東京都千代田区丸の内 3 丁目 5-1)
- 4 調査・研修概要
「軽減税率・キャッシュレス対応推進フェア in 東京」について
別紙のとおり
- 5 感想及びまとめ
別紙のとおり

* 行政視察に関する調査書、概要、参考資料等は、会派にて保管

別紙

4 調査・研修概要

「軽減税率・キャッシュレス対応推進フェアin東京」について

(1) 視察の目的

本年10月1日からの消費税率10%引き上げに伴い、軽減税率制度の導入と対象店舗でキャッシュレス支払いをした方へのポイント還元等を実施するキャッシュレス・消費者還元事業が始まるので、その詳細と取り組みの調査を目的に参加した。

(2) フェアの概要

本フェアは、本年10月1日から消費税・軽減税率制度が実施されること、及びキャッシュレス・消費者還元事業が開始されることを踏まえ、中小企業の経営に役立つ有識者による講演、レジメーカーやキャッシュレス決済事業者によるブース出展、各種補助事業の申請方法の説明や相談ができるコーナーの設置などにより、軽減税率対応が必要な方や、キャッシュレスサービスの導入を検討されている方々へのサポートを目的に開催された。

○主催—経済産業省、中小企業庁、関東経済産業局

一般社団法人日本能率協会

○後援—独立行政法人中小企業基盤整備機構、一般法人キャッシュレス推進協議会、日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会、全国商店街振興組合連合会、公益社団法人日本青年会議所

○開催場所—全国8エリア/各8会場(今回東京会場)

フェア会場では大きく2つのコンテンツが同時進行しており、その1つがステージコンテンツで「軽減税率制度/キャッシュレス・消費者還元事業説明」「特別講演」「専門セミナー」のいずれかが常時開催されていた。

また、もう1つのコンテンツでは、展示・体験プログラムがあり「レジメーカー・キャッシュレス決済事業者展示コーナー」「キャッシュレス体験コーナー」「相談コーナー」「出展企業プレゼンテーションステージ」が常設され、多くの来場者に対応していた。

5 感想及びまとめ

本事業は政府主導（担当は経済産業省）で開催されたもので、今年10月から始まる消費者還元事業に向けて、本事業への参加団体・参加企業と協力しながら相当な準備をしてきたことが窺えた。

参加したステージコンテンツの「行政インフォメーション キャッシュレス・消費者還元事業セミナー（講師 一般社団法人キャッシュレス推進協議会ポイント還元事務局 松下恵美氏）」では、事業の詳細を確認することができた。また、「出展企業プレゼンテーションステージ」や企業ブースでの説明などから、出展している企業はこの古くて新しい決済ビジネスを大きなチャンスと捉えて積極的に参加していると感じた。今後、ますますこの分野のサービスレベルの競争が激しくなり、クオリティが充実していくことが予想される。

キャッシュレス体験コーナーでは、スマホとカードのキャッシュレス決済を体験することができ、利便性の高さを再確認することができた。今年10月から本市でも消費税増税とともに、キャッシュレス・消費者還元事業が展開される予定だが、前述したとおり、実質減税効果のあるこのサービスは決済事業者を中心に各企業がビジネスチャンスと捉え、シェア拡大のため、しのぎを削りサービスが充実していくことが予想される。

このビジネスチャンスを本市でも活用するために、売る側の地元商店が潤うような対策が必要と考える。また、買う側の市民もこの事業の恩恵を受けられるように、行政として市も何かアクションを起こす必要性を感じたが、限られた時間と財源を効率的に活用するならば、「集中と選択」をしなければならず、それを前提にするならば、デジタルネイティブの世代はサポートの必要性が極めて薄いことから、その労力を所得の限られた高齢者へのサポートに集中することが最適と考える。

この事業の担当課である埼玉県産業労働部商業・サービス産業支援課（総務・サービス産業担当）でも、本年3月にキャッシュレス推進協議会を開催したが、今後、県全体でもますますキャッシュレス化が加速していくと予想されるので、本市もしっかりと県と連携して、高齢者を含む市民がキャッシュレス・消費者還元事業の恩恵をきちんと受けられるように取り組んでいくことを期待したい。私も6月定例会の一般質問でも取り上げるなどして、視察で学んだことを活かしていきたい。